

「心地よい」感覚を基準に

琉球風水で心地よい家づくり

執筆/横川明子
(琉球風水スクール「アマリタ」主宰)

今回は、明るく活動的な性質を持つ陽の空間について、室内環境の陰陽バランスの整え方を解説します。

よこかわ・あきこ / 東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948 (受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み)。ホームページ <http://aromarine.jp> ブログ <http://ameblo.jp/marine-sapphire/>



陽の空間(表1)の中から、リビングを例に考えてみましょう。

リビングは南側と相性◎

陰陽バランスの視点から言えば、陽の空間であるリビングは、陽の方位である南側に配置されていると、部屋の性質と方位の気が調和し、相性が良いと考えます(図1参照)。

一方、リビングが陰の方位に位置すると、部屋と方位の気が調和していません。しかし、陰陽バランスに配慮して、色や材質を適切に選び、室内環境を整

明るく、活動的な陽の空間

えていくことで、調和の取れた空間をつくることは可能です(表2参照)。

リビングは人が集まるにぎやかな空間で、陽の気を好みます。部屋の陰陽バランスを整える際は陽の比率が高くなりますが、くつろぎの空間でもあるので、適度に陰の気も必要とします。そこに暮らす人がどんな気持ちで過ごしたいのかを考え、「心地よい」という感覚を基準に陰陽のバランスを意識して、室内環境を整えていきましょう。

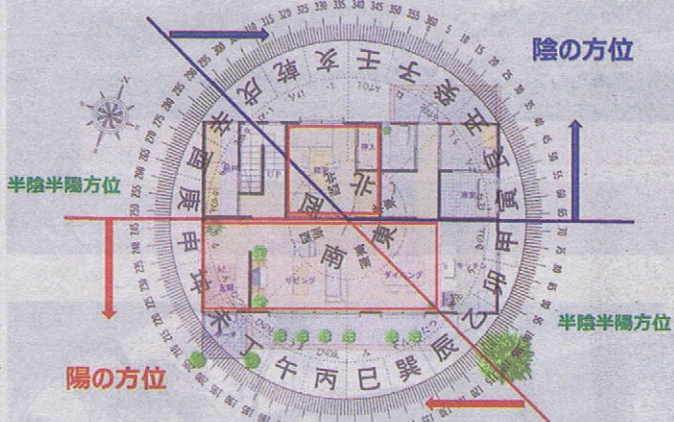
|| 第3週に掲載

表1 住宅内における陽の空間

住宅内における陽の空間とは、人の出入りや動きが活発でにぎやかな部屋。主にパブリック空間です。

陽の空間	
玄関	住宅内における陽の空間とは、人の出入りや動きが活発でにぎやかな部屋。主にパブリック空間です。
リビング	
ダイニング	
和室	
客間 など	

図1 陰陽空間と陰陽方位の図面



陽の空間を赤で囲いました。玄関、リビング、ダイニングは陽の方位にあり、気が調和しています。和室は、陰の方位にあります。ですから、パブリック空間としての機能を優先する場合は、陽の気を補い、夜は寝室として使うのであれば、陰の気を生かします。その部屋が陰の空間か、陽の空間なのかは、住む人がどう暮らすかによって決まります。部屋の使い方に応じて心地よく過ごせるよう、陰陽バランスを整えましょう。

表2 室内環境の整え方【リビング】

陽の方位(南側)にある場合

陽の気を生かす

気が調和しています。もともと自然に備わっている陽の気をできるだけ生かせるよう、開口部を大きく取り、全体的に白系や明るい色使いで、室内の明るさや活気を維持します。

布類は氣の流れを穏やかにする陰の傾向があります。特にソファなどの椅子類に取り入れることで、ゆったりとくつろげる雰囲気。淡い緑も穏やかに陰の気を補い、心やすらぐ癒やしの空間となります。

ゴールドの装飾や、表面がツルツルとしたガラスの花器は、華やかな陽の気を持ち、アクセントとして取り入れることで、効果的に陽の気を強めます。



赤や原色、大胆な柄物などを広範囲に使うと、陽の気が強くなり過ぎ、暑く感じたり、落ち着かない空間になるので注意します。

陰の方位(北側)にある場合

陽の気を意識して補う

気が調和していません。陽の気が不足しているので意識して補い、明るい空間づくりを心がけます。ハイサイドライトや窓を大きくとるなどして、自然光を多く取り入れられるようにします。照明も明るくします。

インテリアカラーでは、壁紙や床などに、白系や明るい色。オレンジや黄色、ピンクなどの暖色系や、柄物も陽の気を補い、心も明るくなります。春夏に大胆な柄物を取り入れたなら、秋冬は無地でシックな色合いを選ぶなど、季節感を意識して陰陽バランスを取り、インテリアを楽しむのも良いでしょう。



また、リビングは心穏やかにくつろぐ空間でもあります。布類や、やわらかみのある木材など、陰の気を持つアイテムもバランス良く取り入れましょう。